

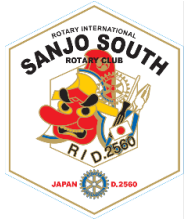


# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2026-2027  
クラブテーマ

楽しみ、つながり、広げる



2026. 7. 13

R I 国際大会報告

No.2567

No.2



会長挨拶  
三条南ロータリークラブ  
会 長  
吉沢 栄一

皆さん、こんにちは。

本日もご出席いただき、ありがとうございます。

まず初めに、本日は加茂ロータリークラブより、2560 地区第四分区分会 M の PR のため、加茂ロータリークラブより長澤敬一ガバナー補佐、市川賢一 IM 実行委員長にお越しいただきしております。

ご多忙の中、当クラブの例会にお越しいただき、心より歓迎申し上げます。

IM (インターシティ・ミーティング) は、クラブの垣根を越え、同じ地区・分区分会の仲間と学び、交流し、新たな気づきを得られる大変貴重な機会です。

私たちが普段の例会だけでは出会えないロータリアンと語り合い、それぞれのクラブの活動や考え方を知ること、クラブをより良くするヒントを得ることができます。

そして来年度は、私たち三条南ロータリークラブが幹事クラブとして IM を担当することになります。

ですので、今年はいできるだけ多くの会員の皆さんに参加していただき、「IM とはどのようなものなのか」「どのように運営されているのか」を実際に体感していただきたいと思います。

本日は後ほど加茂ロータリークラブの皆様から PR がありますので、ぜひその思いを受け止めていただき、多くの皆様にご参加いただければと思います。

今日は、私の会社の創業にまつわる少し不思議なご縁のお話をさせていただきますと思います。

先週木曜日、亀田製菓のお客さま懇談会に参加してまいりました。

この懇談会は 1974 年から続く伝統ある会で、今年で第 52 回を迎えます。長年お付き合いのある取引先が一室に会し、亀田製菓の現在と未来について話を聞くことができる、大変有意義な会でした。

実は、亀田製菓には私自身、特別な思いがあります。

私の叔父は、亀田製菓総業当初 1957 年から初代社長古泉栄治氏とともに亀田製菓の発展に寄与致しました。28 歳という若さで亀田製菓の常務となり、「ハッピーターン」や「サラダホープ」の商品開発にも深く携わった一人です。

その叔父が、私の父に「これからはプラスチックの時代だ。やってみないか。」と声を掛けたことが、吉沢化成の原点でした。

父はその話を受け、「一週間考えさせてほしい」と返事をしたそうです。

そして一週間後、「やります。」と決意を伝えました。

ところが、世の中というのは本当にタイミングがあるもので、その半年前から亀田製菓にお願いをしていた一斗缶の生産をしていた某 H 社さんが、父が返事をするわずか一日前に「プラスチック事業を始めます」と決断されていました。

たった一日の差でした。

結果として、亀田製菓のプラスチック化に携わることはできませんでした。

もし父の返事が一日早ければ、吉沢化成の歴史は全く違ったものになっていたかもしれません。

人生は、能力だけではなく、ご縁やタイミングにも大きく左右されるものだと感じます。

しかし父は、その一日を悔やむのではなく、「それなら自分たちの力で会社をつくろう」と決意し、吉沢化成を創業しました。

おかげさまで、今年で創業 50 年を迎えることができました。

あの一日があったからこそ、今の吉沢化成があると思うと、不思議なご縁を感じます。

現在の亀田製菓は、皆さんもご存じのとおり、大変好調です。直近の売り上げ 1360 億円、海外売上比率は約 35% となり、2030 年にはさらに 50% 近くまで高める目標を掲げています。

特に北米では、日本でもおなじみの薄焼きせんべいが健康志向やグルテンフリー需要を背景に好評で、海外市場で新たなファンを獲得しています。

また、米粉パンを製造する「たいない食品」、そして長期保存が可能なアルファ米で知られる「尾西食品」も順調に成長しており、「米」の可能性を世界へ広げています。

懇談会では、高木社長とも少しお話をすることができました。

高木社長とは縁戚関係（親同士がいとこ）でもあり、小さい頃は近所で一緒に野球をしたり遊んだりした仲です。

そのご縁もあり、三条南ロータリークラブで卓話をお願いしましたが、難しそうな顔をしてました。

実現しましたら、皆さんにも貴重なお話を聞いていただける機会になると思いますので、ぜひ楽しみにしててください。

持続可能な  
インパクトを  
生み出そう

国際ロータリー会長 オンラインカ・ハキーム・ババロラ (ナイジェリア)  
第2560地区ガバナー 富山 洋 (雪国魚沼)  
第4分区分会ガバナー補佐 長澤 敬一 (加茂)  
会 長 吉沢 栄一  
幹 事 布施 純也  
S A A 中村 靖

事務局  
〒955-8666 三条市町 2-5-10  
三条信用金庫本店内  
TEL 0256-35-3477  
FAX 0256-32-7095  
E-mail info@sanjo-minami.jp  
URL https://www.sanjo-minami.jp

## ニコニコボックス

7/13 14,000円 今年度累計 36,000円

長澤さん、市川さん(加茂)「BOXに協力します」

吉沢会長「本日はIMのPRで加茂RCより長澤敬一ガバナー補佐、市川賢一IM実行委員長にお越しいただきました。ありがとうございます。皆さん、9月のIMに参加しましょう」

長谷川エレクト、木村さん 加藤さん

「長澤様、市川様ようこそ三条南RCへお越しくださいましたお忙しい中ありがとうございます」

坂井さん、田代さん、荒澤さん、渡辺(俊)さん、平松さん、銅冶さん、熊倉さん、関さん「BOXに協力します」

星野さん「22年前の今日、7.13水害は今までで一番大きな事件でした。人生観が大きく変わりました。BOXにご協力ありがとうございました」

◆本日の出席：40名中28名

◆前年度通算出席率：91.67%

◆本日のヴィジター：加茂RCより長澤敬一第4分区ガバナー補佐、市川賢一第4分区IM実行委員長

◆先週までのメイクアップ：▷7/11 第1回米山委員長セミナー(ホテルイタリア軒) 藤田寛嗣さん、石山昌宏さん(地区役員)

◆幹事報告：布施純也幹事

◆例会行事予定の変更について

① 9月28日に予定していた「長澤ガバナー補佐事前訪問・クラブ協議会」は9月14日に変更になりました。当日の予定は追ってご連絡いたします。

② 市内4RC合同例会が12月16日(水)昼例会で開催されます。12月14(月)の通常例会からの振替といたします。

## 第4分区IMに御参加ください



第4分区ガバナー補佐

長澤 敬一様

第4分区IM実行委員長

市川 賢一様



2026年9月12日(土)

14時～18時

於：加茂七谷温泉 美人の湯  
フォーラム：

「県央地域の『高等教育機関』  
を使い倒す！」

## 表彰 ～ロータリー財団より～



マルチプル・  
ポールハリスフェロー+1  
(累積\$2,000)

渡辺 俊明さん



ポールハリスフェロー  
(累積\$1,000)

加藤 一芳さん

## 卓話

### 「RI国際大会報告」



木村 譲さん

吉沢栄一さん

長谷川直哉さん

【木村 譲さん】今回は、先日6月13日から17日にかけて開催されました、ロータリー国際大会(国際ロータリー年次大会)についてご報告させていただきます。

今年の国際大会は台湾の台北ドームで開催され、世界中から約35,000人ものロータリアンが集結しました。会場は熱気に満ちあふれ、参加人数が多いため午前と午後の2部に分かれて式典が行われるほどの規模でした。

約2時間の開会式典のうち、最初の1時間は世界各国の国旗紹介に費やされ、地球規模で広がるロータリーのネットワークの偉大さを肌で感じる時間となりました。まさに国際大会のテーマである「一生の思い出と友情が生まれる場所」を体現した素晴らしいセレモニーでした。

ロータリー国際大会は、世界中から集まるロータリアンが、地域や世界が抱える課題の解決策を語り合い、持続可能な変化を生み出してきた活動の成果を祝い合う場所です。

本会議でリーダーの言葉に刺激を受けたり、分科会で活発な討論に参加したり、また「友愛の家(ハウスオブフレンドシップ)」で世界中のプロジェクトの展示を見て回るなど国際大会でしか得られない体験が多数用意されていたそうです。

大会期間中、我が第2560地区が主催する「台北大会・2560地区の夕べ」も開催され、地区内から約130名が集まり親睦を深めました。

他の会員の多くは金曜日から月曜日の日程でしたが、私たちは土曜日から火曜日までのスケジュールで滞在いたしました。日曜日の丸一日をロータリー国際大会のプログラムに費やし、それ以外の日は、当クラブの長谷川直哉会員のビジネス関係者の皆様と共に過ごさせていただきました。土曜日の夕食会から始まり、現地でのビジネスの最前線に触れるなど、ロータリーの「職業奉仕」や人脈の広がりを実感する大変有意義な時間を過ごすことができました。

皆様も機会がございましたら、ぜひ一度この感動的なロータリー国際大会へ足をお運びいただき、世界規模のロータリーのパワーを体感していただければと思います。



台北大会・第2560地区の夕べ(ガバナーナイト)

【吉沢栄一さん】このたび、木村さん長谷川さんとともに台湾を訪問し、ロータリー世界大会への参加と企業視察を行ってまいりましたので、ご報告いたします。

まず、ロータリー世界大会では、世界中から集まったロータリアンの熱意とスケールの大きさに圧倒されました。国や言葉、文化は違っても「人のために行動する」というロータリーの精神は世界共通であり、会場全体がその思いに包まれていました。

改めて、私たちは三条南ロータリークラブの会員であると同時に、世界120万人を超えるロータリアンの一員であることを実感しました。

そして、ロータリーの魅力は奉仕活動だけではありません。世界中に仲間がで、そのご縁が人生を豊かにしてくれることも、大きな魅力だと感じました。

また、今回は台中でも企業視察を行いました。長谷川さんのお陰で有意義な企業視察となりました。

実際に工場を見学し、現地の経営者の皆さんと意見交換をさせていただきましたが、台湾企業のスピード感や決断力、そしてものづくりに対する姿勢には、大いに刺激を受けました。

私自身もプラスチック業を営む経営者として、多くの学びがあり、「現状維持ではなく、常に変化し続けることが企業の成長につながる」ということを改めて感じました。台湾の旅を通じて築かれた友情が、国境を越えて続いていることを実感し、人と人とのつながりの大切さを改めて感じることができました。

一方で、最終日は少し残念な出来事もありました。

帰国前日に予定されていた最後の夕食会をとても楽しみにしていたのですが、体調を崩してしまい、参加することができませんでした。同行頂いた皆さんにはご心配をおかけしましたが、それだけが今回の心残りです。次回台湾を訪れる機会があれば、その分まで元気に参加し、また台湾の皆さんとの交流を深めたいと思っています。

今回の台湾訪問を通じて、ロータリーは世界とつながる組織であり、企業経営においても多くの学びと出会いを与えてくれる場であることを改めて実感しました。

この経験を私一人のものにするのではなく、三条南ロータリークラブの活動やクラブ運営にも生かし、皆さんと共有していきたいと思います。

【長谷川直哉さん】

いつも唱和している、ロータリーの目的に

「世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進・・・」

とあります。

今回私は入会以来初めて世界大会に参加し、ロータリークラブとは入会と同時に国際的ネットワークの権利を持ち得る、唯一無二の団体であることを強く感じました。

4日間で 38,000 人以上の参加者が台北の地に集い、様々なプログラムを通じて国際理解と親善を実感できたこと、今後のクラブ活動に活かしていきたいと思います。

また、室田ガバナーによるガバナーナイトでは、あえて異国での出会いから盛り上がりたまたま隣に座った他クラブのメンバーさんとも親交を深めることができました。

このような機会に参加できたこと、感謝します。

ありがとうございました。



ババローRI会長に遭遇

